

## 第 2 回審議会意見交換会意見要旨（11/12 開催）

### （1）事業承継の概要について

- ・事業承継の概要と 3 つの類型について、北海道内の後継者不在率、後継者不在による廃業が一定数存在し深刻な後継者不足があることを説明。
- ・取組内容

苫小牧市	事業承継推進事業、とまサポによる情報発信、アクションプランの策定
商工会議所	創業×事業引継ぎセミナー、経営指導員による巡回・窓口相談指導、個別相談会の定例開催（毎月第 3 木曜）
北海道事業承継・引継ぎ支援センター	準備段階の相談から実務までサポート、北海道後継者人材バンクの運営、苫小牧サテライトの設置
金融機関	日本政策金融公庫（融資・継ぐスタ）、北海道信用保証協会（保証制度・サポートデスクの設置）

### （2）主な意見

#### ① 支援体制・連携の強化

- 身近な相談相手である地元の信用金庫を中心とした金融機関や、中小企業総合支援センター（よろず支援拠点）など、幅広い機関との連携強化が必要。

#### ② 経営者の意識改革と計画策定

- 後継者が継ぎたくなるようなビジョンを経営者が示すことが不可欠。第三者が介入し、事業承継計画を策定することで、親族間でもベクトルを合わせることができる。
- 事業承継は「廃業・引退」という後ろ向きなものではなく、税制対策や安心・安定した事業運営が可能になるものとして捉えることが必要。

#### ③ 情報発信とマッチング

- 多くの支援機関や制度があるが、当事者に知られていない。「どこに相談すればよいかわからない」事業者へのリーチが課題。
- 小規模事業者におけるマッチングや、従業員確保を目的とした M&A 需要への対応も重要。
- 事業者アンケートを活用し、潜在的な承継ニーズや支援制度の認知度を把握する必要がある。